

TAKA TONE Jazz Tap Live 2022 in Late Autumn

Cast

川村 隆英 (tap)

1968年9月高知県出身。15歳からタップを始め、18歳で上京し、加藤邦保氏より本格的にタップダンスを学ぶ。同氏が率いる「JAM TAP DANCE COMPANY」にて舞台経験を積み、94年に渡米。米国滞在中は、Jimmy Slyde氏に師事し、ジャズタップとタップルーディメントを学びながら、「JIMMY FAMILY」のメンバーとしてジャズライブやイベントに出演する。師であるJimmy Slyde(tap)、Barry Harris(pf)を始めとするタップ界ジャズ界の多くの巨匠達と共演し、TAKA SLYDE(Jimmy氏より命名される)の愛称で親しまれる。帰国後は国内の多数のジャズクラブでDolly Baker(vo)、山本剛(pf)、井上智(g)をはじめとする実力派ジャズミュージシャンとの活動を始める。「生涯のライフワークとしてライブ活動をやりなさい!」という亡き師の言葉を受け、2008年よりセルフプロデュースライブ「TAKA TONE」をスタートさせ現在に至る。



堀 秀彰 (pf)

1978年千葉県出身。(10歳までは北海道で育つ。)幼少の頃より楽器に親しみ、高校時代ジャズに感動し本格的にピアノを始める。早稲田大学モダンジャズ研究会で腕を磨き、その頃からプロとしての活動を開始。センス溢れるコードワーク、繊細かつ情熱的なプレイでベテランから若手まで大きな信頼を得ており、国内外の著名アーティストとの共演歴も多い。浜崎航との双頭カルテット「Encounter」、N-Lab(堀秀彰クインテット)、「堀秀彰トリオ」、「デュオトレモロ(堀秀彰&馬場孝喜)」、奥平真吾「The New Force」、横田寛之「ゴウダヴ」、「山口真文グループ」、藤村麻紀「The DUO!!!」、「Paris Match」、などを中心に日本全国のジャズクラブ、コンサート、フェスティバル等で活躍中。



馬場 孝喜 (g)

京都府出身。中学時代からギターを始める。2004年、ニューヨーク〜ブラジルに渡航し、ギタリストBilinho Teixeiraに師事。ボサノバ、サンバ、ショーロなどのブラジル音楽に傾倒する。2005年ギブソン・ジャズギターコンテスト最優秀ギタリスト賞受賞。2006年11月25日に京都コンサートホールで行なわれた「佐山雅弘 PLAYS ゴールドベルク変奏曲」第二部の佐山雅弘トリオに参加。2008年より拠点を関西から東京に移す。佐山雅弘、井上智、大坂昌彦、沢田穠治など多数のミュージシャンと共演。現在、自身のグループや様々なセッション、レコーディング、講師など幅広く活動している。2013年11月20日、初となるリーダーアルバム「GRAY-ZONE」をSong & Co.レーベルよりリリース。



増原 巖 (b)

1967年3月8日大阪市住吉区出身。関西学院大学在学中よりプロ活動をはじめ、1992年から1996年まではNYのマネス・カレッジ・オブ・ミュージックにてジャズとクラシックを学ぶ。帰国後、関西にて活動。2001年より活動拠点を東京に移し、辛島文雄(p)、大山日出夫(as)、太田寛二(p)、井上智(g)、池田篤(as)、椎名豊(p)、Noon(vo)、矢野沙織(as)らのグループに参加し活動する傍ら、自己のグループ「WHAT'S UP?」の全国ツアーも行う。海外のビッグ・アーティストとの共演歴も豊富で、Salena Jones(vo)、Phil Woods(as)、Jimmy Cobb(ds)、Barry Harris(pf)、Lewis Nash(ds)とはツアーも行き、自身の音楽を磨いてきた。現在はOMD(市原ひかりtp、石田衛p)という新たな自己のグループを2015年に結成し、2017年にはアルバムをリリースして、ドラムレトリオによる室内楽的ジャズをテーマに活動中。ハードバップ時代の音楽を自己のスタイルの中心に据えるが、あらゆるジャンルの音楽の中で、歌心とグルーブの表現に真骨頂を発揮するベーシストである。また、作編曲家、バンドリーダーとしての評価も高い。



Schedule

日時：2022年11月24日(木) open 18:30 start 19:30

会場：Live in BUDDY 練馬区旭丘1-77-8 双葉会館B2F

西武池袋線 江古田駅南口より徒歩1分 マルマンストアの地下2階
☎03-3953-1152

料金：¥4,500 (1drink付)

定員：90名 ※状況により減数する場合があります。

ご予約・お問い合わせ：✉ taka@taka-tone.com